個人投資家の皆さまへ

株式会社 野村総合研究所

(証券コード: 4307)

代表取締役 専務執行役員

安齋 豪格

2023年2月3日





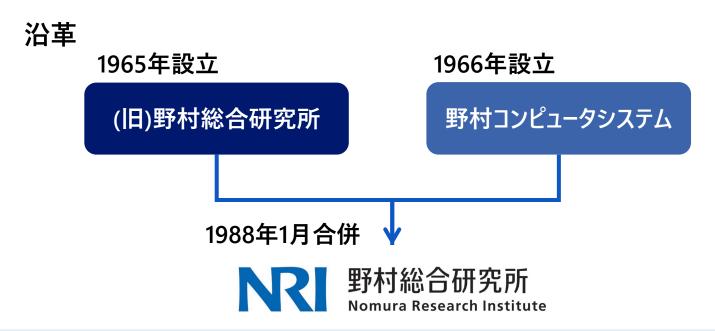
成長を続けるNRIの強み

さらなる成長に向けた取り組み 3

サステナビリティ経営への取り組み

数值目標·株主還元 5

日本初の民間シンクタンク「(旧)野村総合研究所」とシステムインテグレータの草分け 「野村コンピュータシステム」が合併して誕生した会社です



【企業理念 (使命) 】

新しい社会のパラダイムを洞察し、その実現を担う お客様の信頼を得て、お客様とともに栄える

【コーポレート・ステートメント】 未来創発 — Dream up the future. —

2001年12月 東証一部上場

新市場区分プライム市場に移行 2022年4月

(証券コード:4307)

・・・・国内、民間初の総合シンクタンクとして誕生しました (1965)



野村総合研究所の設立趣意書 (1963年に野村證券が作成)

設立趣意書 (通称・赤本) より

ねらい

- 日本でこれまでにない、あたらしいタイプの研究所となること
- ・研究調査を通ずる産業経済の振興と一般社会への奉仕

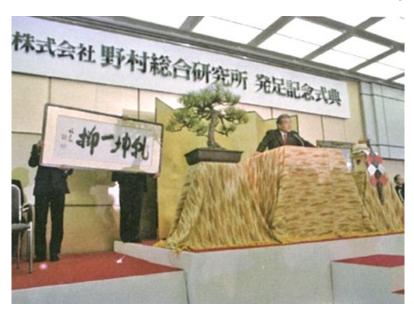
「今の経済界にとって、第一に国際的な視野、第二に経済動向 についての科学的分析、第三に技術研究への深い理解であり、 今日ほど研究調査の重要性の大なる時代はない」

■「公益法人」ではなく、あえて「株式会社」に

野心的な構想を実現するために、株式会社による経済合理性の厳しさを選んだ

・・・・情報サービス企業のあるべき姿を予見して実現しました (1988)

■旧・野村総合研究所と野村コンピュータシステムの合併により コンサルティングとITソリューションの機能を併せ持つ会社が誕生



乾坤一擲(けんこんいってき)

「乾」は天、「坤」は地を表し、天と地をかけたような 大勝負を表現した言葉です。また、野村総合「研」 究所と野村「コン」ピュータシステムの「研」と「コン」で 「けんこん」という洒落っ気も込められています。

野村證券 経営陣からの言葉

・来るべき高度情報社会を見通したとき、 システム機能を持たないシンクタンクはあり得ないし、 シンクタンク機能を持たないシステム企業もあり得ない

(調印式の後の記者会見)

- ・ 1プラス1は2ではない。この合併は必ず10になる
- ・将来の日本の政治・経済すべてにわたって、世界一 の総合研究所が必要だ

(新生NRI発足記念式典での祝辞)

・ 合併の効果や意味は、今から30 年後に分かる あのときに合併して良かったと誰もが思うはずだ (タウンホールミーティング時メッセージ)

NRIは「コンサルティング」と「ITソリューション」を提供する会社です

コンサルティング

未来予測·社会提言等

マネジメントコンサルティング

業務コンサルティング

システムコンサルティング

ITソリューション

システム開発・導入

運用アウトソーシング

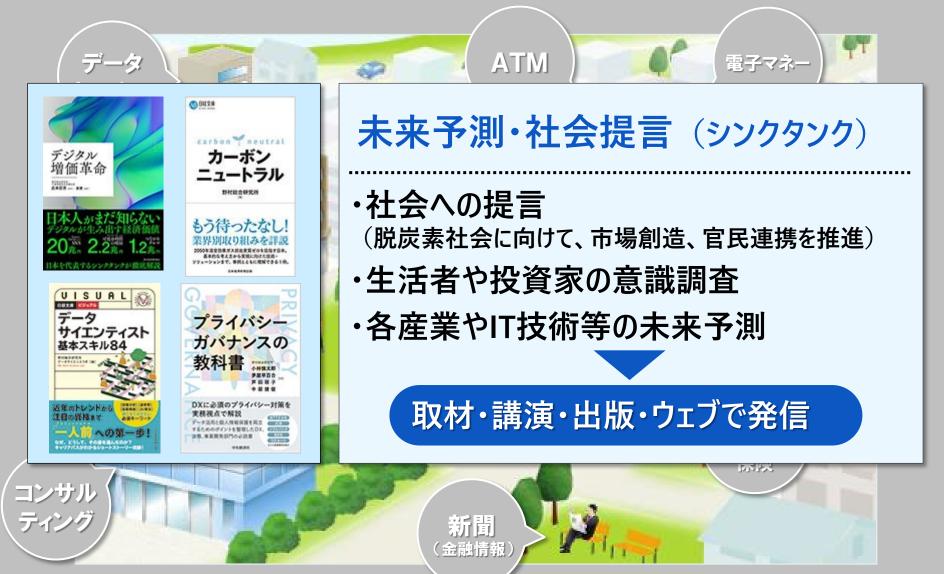
共同利用型サービス

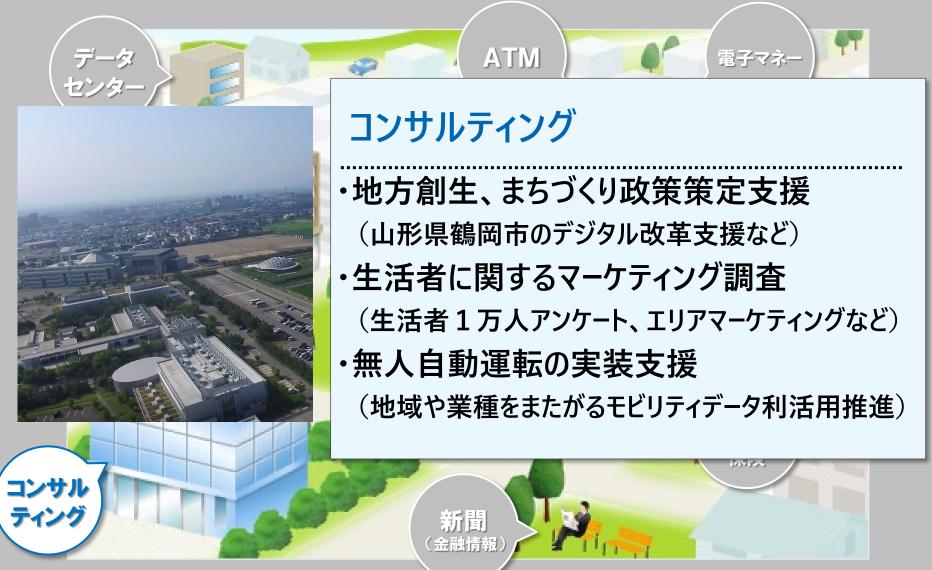
BPO (ビジネスプロセス・アウトソーシング)

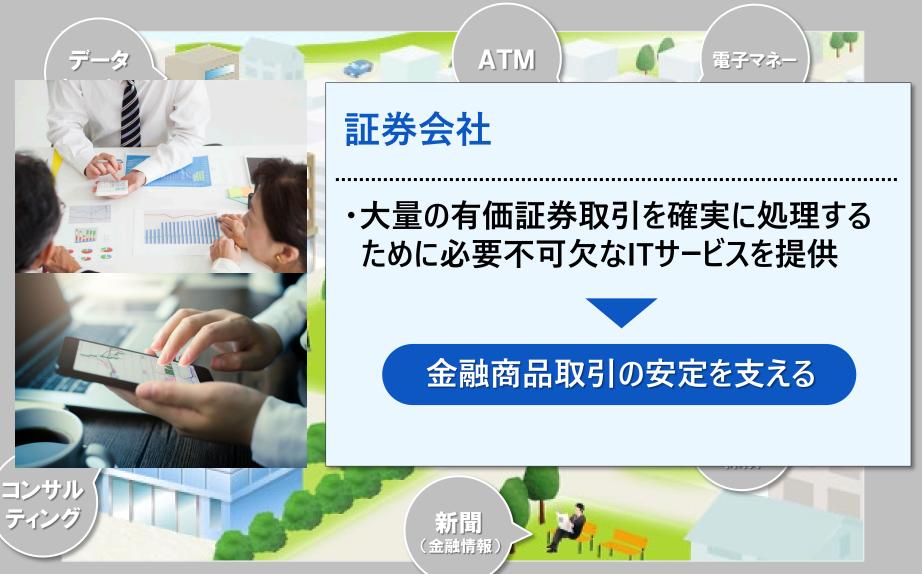
















会社紹介ビデオをご覧ください。 (約7分)

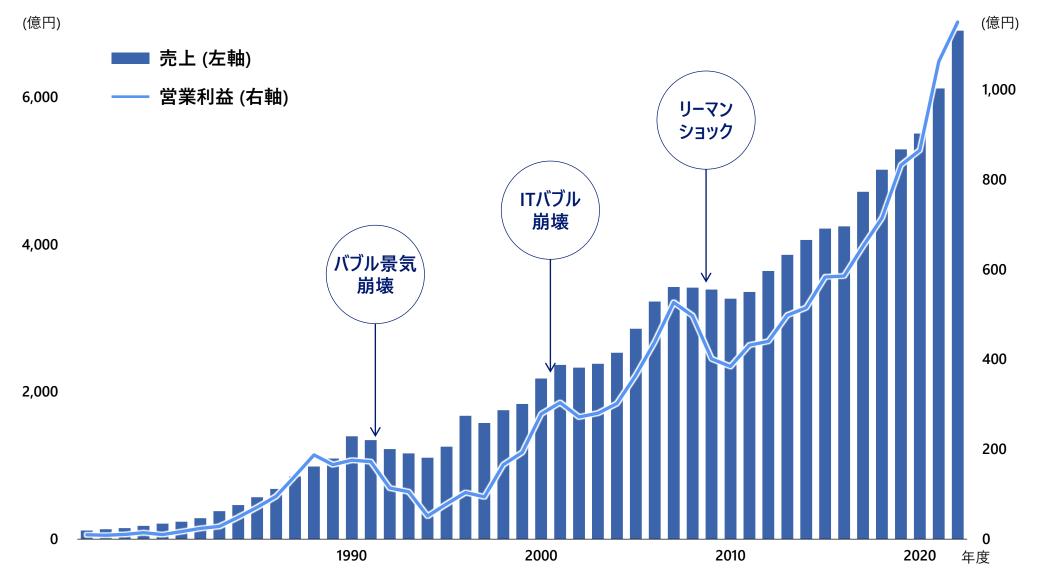
成長を続けるNRIの強み

さらなる成長に向けた取り組み 3

サステナビリティ経営への取り組み

数值目標·株主還元 5

創業以降、持続的な成長を達成してきました



ITサービス業界の中で、業界トップクラスの利益率を継続しています



NRIの強み

強固な顧客基盤

継続的な事業による安定的な業績

多様な共同利用型サービス

高い安全性と信頼性

卓越したビジネスモデル

金融機関向け売上比率が高い点が特徴です

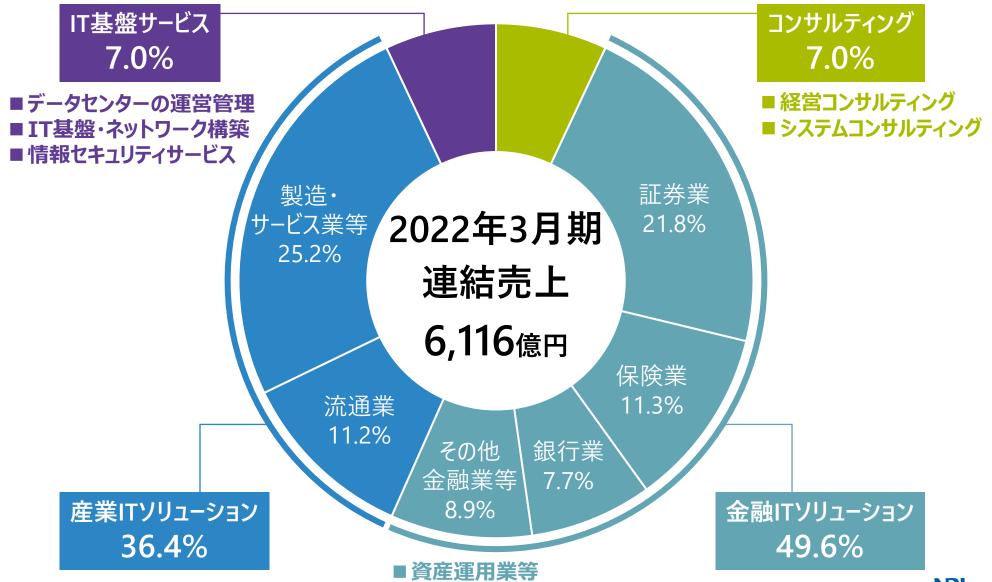
強固な顧客基盤

継続的な事業による安定的な業績

多様な共同利用型サービス

高い安全性と信頼性

卓越したビジネスモデル



強固な顧客基盤

継続的な事業による安定的な業績

多様な共同利用型サービス

高い安全性と信頼性

卓越したビジネスモデル

様々な業界のトップ企業を中心に【強固な顧客基盤】を保有しています

KDDI リクルート ヤマト運輸 味の素

丸紅 セブン-イレブン・ジャパン イトーヨーカ堂 ビックカメラ など

資生堂 日本航空 公文教育研究会 など 製造業・ 証券業 サービス業 保険業 流通業 銀行業 その他金融 セブン銀行 野村アセットマネジメント

野村證券

みずほ証券

三菱UFJ モルガン・スタンレー証券

SBI証券

など

かんぽ生命保険

東京海上日動火災保険

あいおいニッセイ同和損害保険

ソニー生命保険

強固な顧客基盤のもと、60%を超える継続的な事業を有し、 同業他社に比べて、【安定的な業績】を実現しています

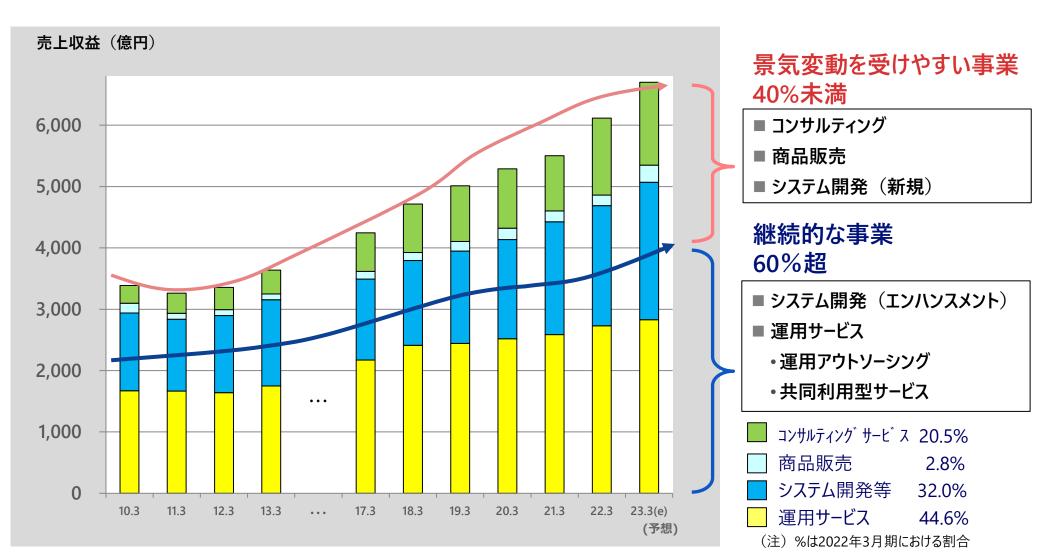
強固な顧客基盤

継続的な事業による安定的な業績

多様な共同利用型サービス

高い安全性と信頼性

卓越したビジネスモデル



NRIは【共同利用型サービス】に大きな強みを持っています 情報システムの「所有から利用へ」の流れを作り出したパイオニアです 強固な顧客基盤

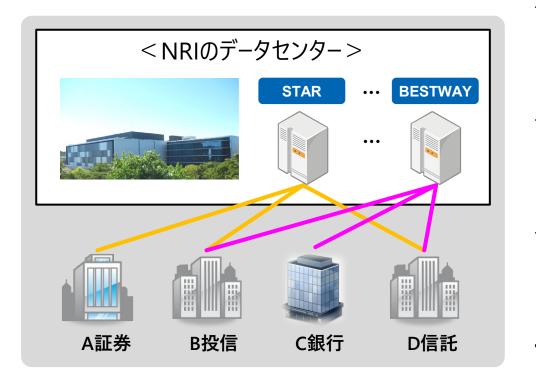
継続的な事業による安定的な業績

多様な共同利用型サービス

高い安全性と信頼性

卓越したビジネスモデル

- ◆ NRIが開発したシステムをお客様が共用
- ◆ 利用料方式で、お客様のニーズにあった 機能を取捨選択してご利用可能
- ◆ 煩雑な制度改正にも迅速に対応



【共同利用型サービスの一例】

THE **STAR** リテール証券会社向け 総合バックオフィスシステム

75 社

I-STAR

ホールセール証券会社向け 総合バックオフィスシステム

28 社

T-STAR

投資信託運用会社向け 信託財産管理システム

79 社

BESTWAY

投資信託窓口販売 口座管理システム

110 社

※利用社数は2022年12月末時点

M&O

継続的な事業による安定的な業績

多様な共同利用型サービス

高い安全性と信頼性 卓越したビジネスモデル

強固な顧客基盤

【高い安全性を誇るデータセンター】がNRIのビジネスを支えています 緊急事態での事業継続や災害復旧にも、万全の体制を備えています

【関東地区】



東京第一データセンター

竣工: 2012年

延床面積: 38,820㎡ 受電能力: 4万KVA

【関西地区】

大阪第二データセンター

竣工: 2016年

延床面積: 18,360m² 受電能力: 7,500KVA



横浜第二データセンター

竣工: 2007年

延床面積: 15,888 m² 受電能力: 1.5万KVA

【高い安全性】を誇るセキュリティ事業が、高度化する サイバー攻撃とその脅威からお客さまのビジネスを守っています 強固な顧客基盤

継続的な事業による安定的な業績

多様な共同利用型サービス

高い安全性と信頼性

卓越したビジネスモデル

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

- ・野村総合研究所の「社内ベンチャー第1号」
- ・2000年独立。現在、グループ企業含め社員数約620名
- ・売上収益は約300億円(国内最大級の事業規模)

/NRI SECURE/

✓ 4つの事業

コンサルティング事業

✓ 高い専門性によるオーダーメイドの 課題解決支援

マネージドセキュリティ サービス事業

✓ 24時間365日で世界トップレベルの MDR(Managed Detection and Response), **SOC**(Security Operation Center)

DXセキュリティ事業

✓ デジタルトランスフォーメーションを 支えるセキュリティ

ソフトウェア事業

✓ 高品質で利便性の高い自社開発 ソリューション

コンサルタントとエンジニアがひとつのチームとなって お客様と併走する【コンソリューション】で、継続的に価値を提供します 強固な顧客基盤

継続的な事業による安定的な業績

多様な共同利用型サービス

高い安全性と信頼性

卓越したビジネスモデル

【コンサルティング】 + 【 ITソリューション】 = 【コンソリューション】

分析·提案 ITの構築 コンサルティング (更新)・ 拡張 データの 更新・ 蓄積 ITソリューション ITを利用した オペレーション

成長を続けるNRIの強み

さらなる成長に向けた取り組み 3

サステナビリティ経営への取り組み

数值目標·株主還元 5

Vision2022 (現・長期経営ビジョン)の目標は、概ね前倒しで達成しています

	Vision2022 目標 (2023 年 3 月期)
連結営業利益	1,000億円
連結営業利益率	14%以上
海外売上収益	1,000億円
ROE	14% [*]

2022 年 3月期 実績	2023年3月期 予想	
1,062億円	1,150億円	
17.4%	16.7%	
765億円	1,050億円	
21.3%	-	

[※] 継続的に高い資本効率を目指す

新長期経営ビジョン「NRI Group Vision 2030 (V2030) 」の骨子を説明します 現在、V2030の確定と新中期経営計画を策定中で、2023年4月に発表予定です

スケジュール概要

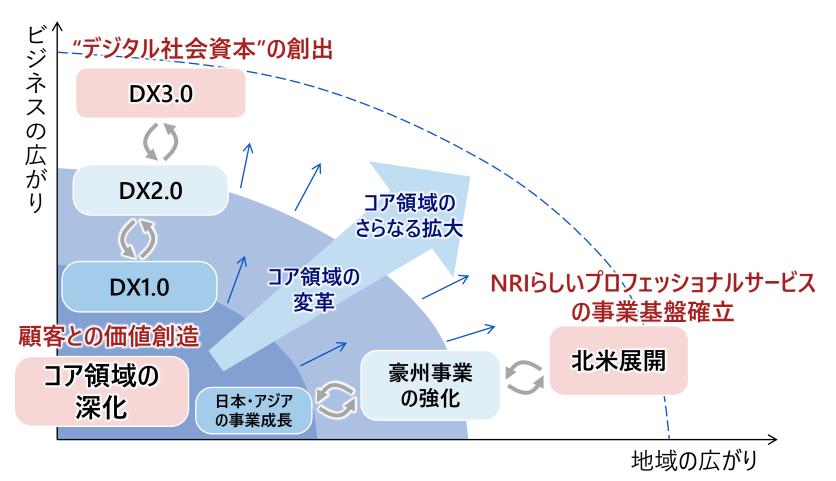


2030年に向けた成長ストーリー

コア領域 : 拡大・深化を通じて顧客の価値創出をリード

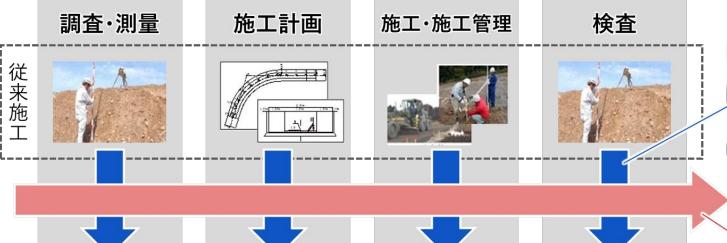
:企業や産業を超えて社会にインパクトをもたらすDX3.0へと進化

■ グローバル:各地域のIPを相互に高めあいながら、NRIらしいDXをグローバルで実現



【DXビジネスの創出と拡大】 DX2.0の事例 産業分野では、ビジネスモデル変革の知見を活かしてDXを推進しています

■建設現場のDXを推進するコマツ社「スマートコンストラクション」の高度化に貢献しています



SMARTCONSTRUCTION

「タテ」=プロセスごとの デジタル化



「ヨコ」= すべてのプロセスを デジタルでつなげる











DXにより施工全体を最適化

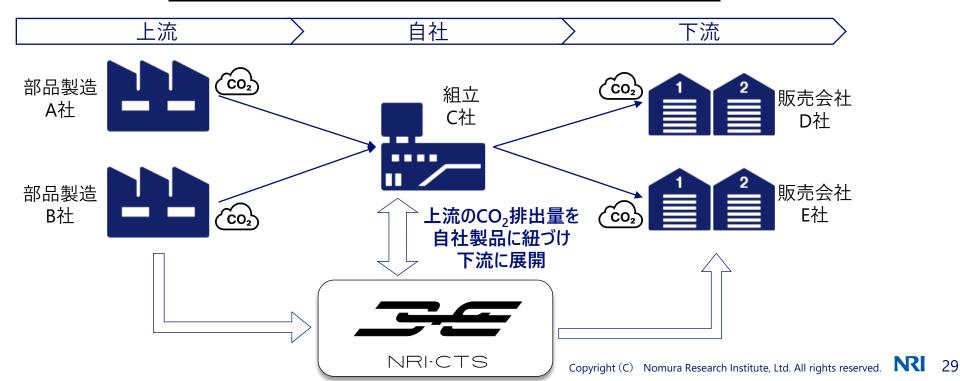
[NRIの提供価値]

- ビジネスモデル変革の 企画・コンサルティング
- システム開発、高度化
- データアナリティクス

【DXビジネスの創出と拡大】 DX3.0の事例 温室効果ガス排出量をサプライチェーン全体で把握するソリューションを提供します

- ■企業の脱炭素の取り組みとして、自社だけではなく、取引先を含めたサプライチェーン全体の 温室効果ガス排出量を把握することが求められています
- ■NRI-CTS (カーボントレーシングシステム) は、各社の温室効果ガスの実測値に基づいた、 正確性の高い情報を**タイムリーに共有**できるソリューションです

サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量の把握(イメージ)



【DXビジネスの創出と拡大】 DX3.0の事例 | デジタル社会の要となるマイナンバーに関連するソリューションを提供しています

■確定申告のデジタル申請では、政府のマイナポータルと連携する仕組みを提供しています



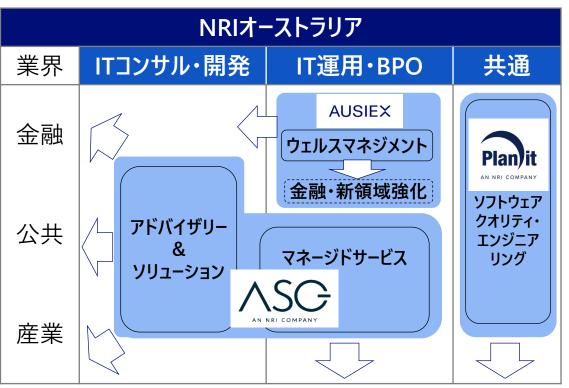
【グローバル戦略】

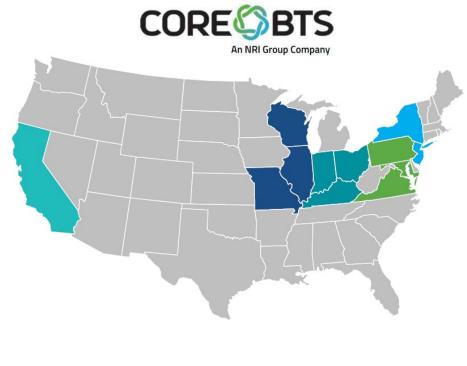
豪州:M&Aを通じた成長を軸に事業基盤を拡大・確立してきました

| 北米:買収したCore BTS社を事業展開の礎として更なる拡大を目指しています

豪州地域の拡大戦略(2016年~)

北米地域の拡大戦略(2021年~)





2030年のNRI

常にテクノロジーの未来を先駆ける私たちNRIは、 DXの先にある豊かさを洞察し、 デジタル社会資本で世界をダイナミックに変革していく

2030年のイメージ

売上 1兆円超

海外売上 2,500億円超 営業利益率 20%以上

(参考) 2023年3月期業績予想

売上 6,900億円

海外売上 1,050億円

営業利益率 16.7%

成長を続けるNRIの強み

さらなる成長に向けた取り組み 3

サステナビリティ経営への取り組み

数值目標·株主還元 5

4. サステナビリティ経営への取り組み

持続可能な未来社会づくりへ貢献し、NRI自身も持続的成長を実現していきます

NRIグループの持続的成長

持続可能な未来社会づくり

企業理念「未来創発」

NRIグループのサステナビリティ経営 (中期経営計画2019~2022)

Vision2022

(中計2022として、1年前倒しで概ね達成)

	Vision2022 (2023年3月期)	2022年3月期 実績
連結 営業利益	1,000億円	1,062億円
連結 営業利益率	14%以上	17.4%
海外売上	1,000億円	765億円
ROE	14 %*¹	21.3%

※1 継続的に高い資本効率を目指す※2 2023年3月期業績予想1.050億円

価値共創を通じた社会課題の解決 (CSVへの取組み)

新たな価値創造を通じた活力ある未来社会の共創

社会資源の有効活用を通じた **最適社会の共創** 社会インフラの高度化を通じた 安全安心社会の共創

CSV: Creating Shared Value (共通価値の創造)

持続的成長に向けた重要課題

地球環境への負荷低減

社会からの信頼を高める 法令遵守・リスク管理

多様なプロフェッショナル が挑戦する場の実現

社会のライフラインとして の情報システムの管理 4. サステナビリティ経営への取り組み

【価値共創を通じた社会課題の解決】

事業活動を通じて、NRIらしい3つの社会価値の共創を目指します

NRIらしい3つの社会価値

ポストコロナに向けた活動例



新たな価値創造を通じた 活力ある未来社会の共創

未来に向けて新たな価値 が次々と生み出され、 すべての生活者がそれらを 享受できる、豊かで快適な 社会をめざす

- ・ビジネスモデル変革
 - DXコンサル (アナリティクス、構造改革)
 - 金融デジタル、非対面、リモート対応
- ·社会·制度提言、情報発信
 - 新型コロナウイルス対策緊急提言



社会資源の有効活用を通じた 最適社会の共創

大切な社会資源(人財・ モノ・カネ・知的資産)を 有効活用する力強い産業 を育み、あらゆるひとが 暮らしやすい社会をめざす

- ・ビジネスプラットフォームへの移行
 - STAR導入の拡大
- ・ビジネスプロセス変革
 - 配送ルートの最適化、店舗でのAI発注



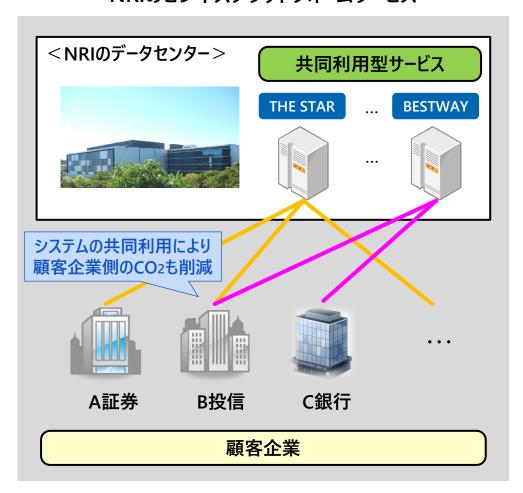
社会インフラの高度化を通じた 安全安心社会の共創

情報システムをはじめとする 社会インフラの守りを固め、 事故や災害等にも強い、 安全安心な社会をめざす

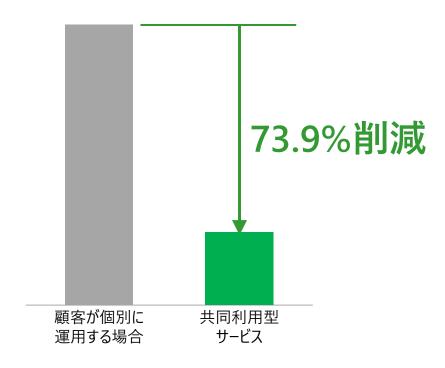
- ・ITインフラ変革
 - テレワークに対応したセキュア基盤
 - ゼロトラストネットワークの実現
- •社会基盤
 - マイナンバー、キャッシュレス推進

【価値共創を通じた社会課題の解決】 共同利用型サービスの利用により、お客様は7割以上のCO2を削減できます

NRIのビジネスプラットフォームサービス



共同利用型サービスによるCO2削減効果



【持続的成長に向けた重要課題】

NRIグループの環境経営において、先進的な取り組みを進めています

温室効果ガス排出力削減

2030年度目標

72%削減 (2013年度比)



2030年度目標

実質ゼロ※

※ NRIグループの温室効果ガス排出量の約2%を占めるScope1の排出量に関しては、 今後のSBTガイドラインや炭素除去の技術動向踏まえて、対策を検討

再生可能エネルギー利用

2030年度目標

データセンターの 再生可能 エネルギー利用率 70%



2030年度目標

NRIグループの 再生可能 エネルギー利用率 100%

NRIグループの温室効果ガス排出量削減率と排出量



環境性能に優れた新しいデータセンターへの 移行等により、2013年度比で約72%の削減を 実現しています

【持続的成長に向けた重要課題】ESGに関する取り組みが外部から評価されています

Dow Jones Sustainability Indices

Dow Jones Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

World Indexに2018年 から5年連続で、Asia Pacificには2016年から 7年連続で採用

MSCI ESG格付け



2021年より格付最上 位ランクのAAAを獲得

CDP



2019年から4年連続で 最高位の「Aリスト」に 選定。サプライヤー・エン ゲージメントリーダー・ボー ドにも2019年から3連 続で選定(2022年度結果

MSCI ESG Leaders Indexes



2016年から7年連続で 採用

FTSE 4 Good Developed Index



2006年から17年連続で 採用

Sustainalytics



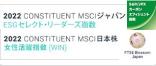
IT業界における持続可能 性に優れた企業"Top Rated Company"に選定

Euronext Vigeo World 120 Index



2021年にESGの取組みに 特に優れた上位企業120 社に初めて選定

GPIF関連ESG指数



2017年から設定された、 GPIF関連のESG指標の 全てに選定

MSCIについて

なでしこ銘柄



女性活躍推進に優れた 上場企業として、2017年 から6年連続で採用

プラチナくるみん



次世代育成支援対策推 進法に基づいた行動計画 で定めた目標を達成するな ど、より高い水準の取組み を行った企業として、2018 年に認定

ディスクロージャー優良企業



優れた企業情報開示企 業に2017年度より6回連 続14回目の選出

えるぼし



女性活躍推進法に基づく 取組み状況が優良な企業 を選定するもので、NRIは 2017年に最高位(3段階 目)を取得

健康経営



健康経営優良法人認定 制度の大規模法人部門 に2017年から6年連続で 採用

【キッザニア福岡】

こども達がみずから考え手を動かして社会課題を解決する体験を届けます

■2022年7月、未来を担うこども達のための貢献活動として NRIのビジネスを疑似体験できるパビリオンを出展

> パビリオン名 ビジネスイノベーションセンター



エンジニアリング・ラボ



ビジネスデザイン・スタジオ



野村総合研究所(NRI)とは?

成長を続けるNRIの強み

さらなる成長に向けた取り組み 3

サステナビリティ経営への取り組み

数值目標·株主還元 5

5. 数值目標·株主還元

2023年3月期の数値目標(連結)を公表しています

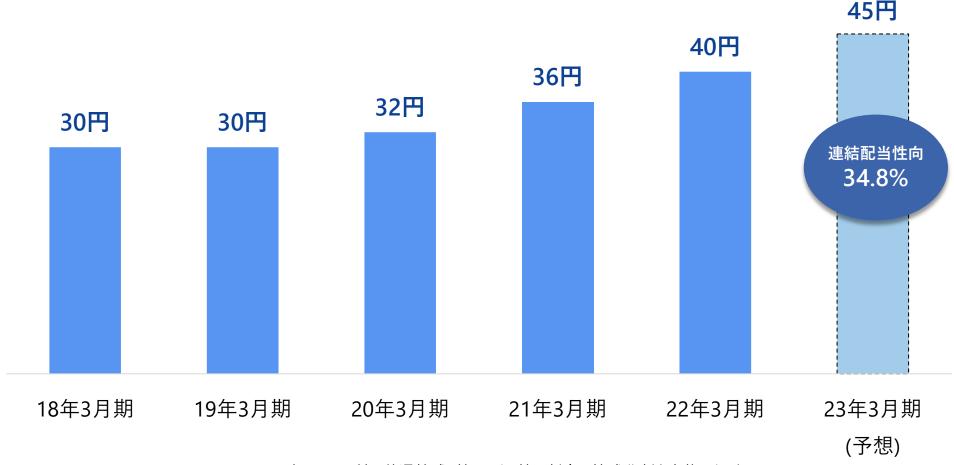
(億円)



5. 数值目標·株主還元

利益成長の成果を、株主の皆様へ安定継続的に還元する方針です 「連結配当性向35%」を目安に、安定的な配当を継続します

【1株当たり年間配当金の推移】*



※ 2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しました。

ご清聴ありがとうございました

参考資料

(参考資料) 野村総合研究所の提供サービス (コンサルティング)

コンサルティングは、国内外約1,000名を超えるコンサルタントが、 企業や政府・官公庁のお客様に対して、様々な支援を行っています

未来予測·社会提言等

- 経済・社会・産業などの将来像を予測
- 出版活動やメディア取材・シンポジウム等 での政策提言などでの情報発信

経営・政策コンサルティング

- 企業の経営戦略・個別戦略策定の支援
- 政府・官公庁の政策立案の支援 中長期計画、年度計画、新規事業計画、M&A等

業務コンサルティング

- 企業の戦略実行の支援
- 政府・官公庁の政策実現の支援 プロジェクト管理、業務プロセス構築、実行サポート等

システムコンサルティング

- 企業や官公庁のITシステム戦略の策定
- Tを活用した業務改革の計画、実行支援
- グローバル各拠点でのITガバナンスの確立

(参考資料) 野村総合研究所の提供サービス(I Tソリューション)

ITソリューションは、システム開発を皮切りに運用アウトソーシングに繋げ、 さらに、培ったノウハウで共同利用型サービスを開発・提供しています

システム開発

情報システムの企画、設計、開発

※必要なハードウェア(サーバ, ネットワーク機器), ソフトウェア(OS, ミドルウェア, パッケージソフト)を企画・選定し、構築を行う

運用アウトソーシング

● 開発したシステムを安全に運用、保守

※システム安定稼動のために、システムの監視や万が一の障害対応を したり、システムの改修を行う

共同利用型サービス

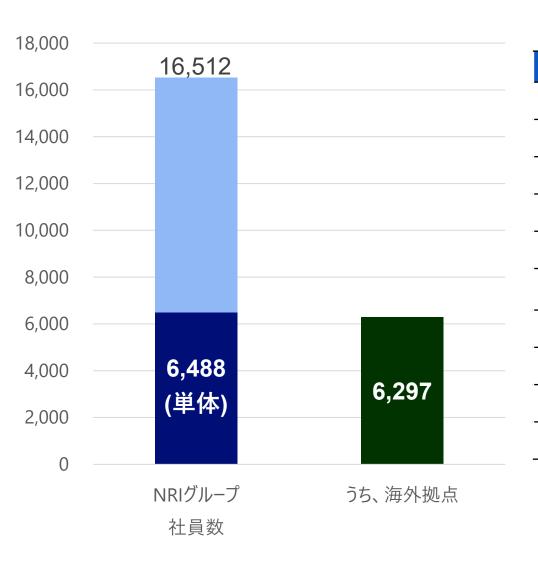
NRIが自ら開発したシステムを、複数の顧客に対して 共同利用型サービスとして広く提供

BPO

共同利用型サービスと関連する人的業務を合わせて **受託** (BPO:ビジネスプロセス・アウトソーシング) 例) データ入力、帳票出力・送付、顧客口座管理業務など

(参考資料) 成長を続けるNRIの強み

【優秀で層の厚い人材】がNRIの強みの源泉です |グル−プ社員数は1.6万人を超え、高度な資格取得者を多数抱えています



【主な資格取得者数 <2022年3月末>】

(NRI単体ベース)

資格名	人数
情報処理技術者(高度)※1	7,240
ITコーディネータ	294
Project Management Professional	379
ITIL Manager/Expert/Intermediate	86
証券アナリスト検定会員	251
公認会計士	17
中小企業診断士	47
一級建築士	10
電気通信主任技術者	108
パブリッククラウド関連資格取得者 ^{※2}	2,615

^{※1} 旧制度下で実施された「システムアナリスト試験 | 「上級システムアドミニストレーター試 験|「情報セキュリティスペシャリスト試験|「情報セキュリティアドミニストレーター試験| の合格者数を含む延べ人数

^{※2} AWS認定資格、Google Cloud認定資格 (GCP)、Microsoft Certified (Technology Azure) の合格者数の延べ人数

(参考資料) さらなる成長に向けた取り組み

【DXビジネスの分類と事例】

DXにより、お客様のビジネスを総合的に支援し、社会の変革に挑戦していきます

様々なパートナーとの共創を通じた社会課題解決 社会課題解決に資するコンサルティング&ソリューション 社会の パラダイム変革 DX3.0 変革 社会課題(例):脱炭素化、循環型社会、食品流通最適化 • デジタル活用や起業家支援による地域社会の創生 今までにないデジタルサービスの確立 • 新たな業種横断型プラットフォームの構築 ビジネスモデル変革 DX2.0 • 顧客の新たなビジネスモデルやエコシステム(複数企業が 連携する仕組み)の実現 生活者向け活動のデジタル化 顧客・業界の デジタルフロント 顧客体験の向上、デジタルマーケティング 変革 プロセス変革 顧客の企業内活動のデジタル化 デジタルバック • サプライチェーンマネジメント、AI (人工知 **DX1.0**

クラウド/セキュリティ等のインフラ高度化 インフラ変革

能)、共同利用型サービス

(参考資料) サステナビリティ経営への取り組み

【持続的成長に向けた重要課題】

ダイバーシティ(多様性)の拡大に向けた取り組みを実施しています

女性活躍

• NRI公式ホームページの情報発信 (https://career.nri.co.jp/spur/)



• 事業所内保育所 「ゆめみなと保育園」



障がい者活躍

• 2015年に障害者雇用促進法に基づく 特例子会社としてNRIみらいを設立







「**そらかふぇみらい**」 NRIみらいのバリスタがハンドドリップで珈琲を提供





【株価チャート】上場以来の株価と売買高の推移

2023年1月27日 終値

3,255円



【株価チャート】日経平均との比較チャート



(参考資料) よくあるご質問

【よくあるご質問①】

- O. 事業内容を教えてください。
- A. 当社の事業は、大きく以下の2つに分けられます。 顧客(民間企業や官庁・地方自治体など)に対する
 - ①企業経営や政策立案などに関するコンサルティング (方針づくり)
 - ②事業を支援するコンピュータシステム(情報システム)の設計・開発・運用(システムを考え、つくり、動かす)
- O. 野村ホールディングスとは、どのような関係ですか?
- A. 野村ホールディングスとそのグループ会社は、当社にとって最大の顧客であり、同時に最大の株主です。 また当社は、野村證券から約60年前に独立し分社化した2つの会社が源流となっており、独立した会社として 運営しています。

売上収益の約10.3%が、野村ホールディングスとその子会社からとなっています。

(2022年3月期)

資本関係は、野村ホールディングスとその子会社が、当社の株式の約25%を保有しています。

(2022年9月末時点)

(参考資料) よくあるご質問

【よくあるご質問②】

- O. 株式調査などをおこなっているのですか?
- A. かつては株式調査などをおこなう組織がありましたが、この組織は約20年前に廃止し、所属していた 証券アナリストチームは野村證券に移籍しました。現在は、個別株式の調査やレポート作成は行っていません。
- O. 海外事業の売上はどのくらいですか?
- A. 海外売上収益は、2022年3月期で765億円です。 新長期経営ビジョン「Group Vision 2030」では、2030年のイメージとして海外売上収益2,500億円超を 掲げています。
- O. 株主優待は実施しないのですか?
- A. すべての株主への公平な利益還元を考慮して、株主優待は実施しておりません。

お問い合わせ先

株式会社 野村総合研究所 IR室

E-mail : ir@nri.co.jp

https://www.nri.com/jp **URL**

- ・本資料は、株式会社野村総合研究所が業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的として作成したものです。
- ・本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- ・本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものですが、その情報の正確性及び完全性 を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起 こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ・本資料の一切の権利は別段の記載がない限り株式会社野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、 いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

